

周 念麗
(Zhou Nianli)



華東師範大学準教授

心理学博士。華東師範大学準教授。

1995 年お茶の水女子大学文教育学部卒業、学士号取得。1998 年東京大学大学院教育学修士号取得。2003 年中国華東師範大学心理学博士学位取得。2004 年 6-12 月、米国 Arizona State University 客員研究員として乳幼児の情緒発達研究を行った。2006 年 5 月-2007 年 3 月、国際交流基金フェローとして、名古屋大学で統合保育について研究した。現在、華東師範大学就学前教育学部心理研究室主任。

研究領域：児童発達心理、親子関係、統合保育

主な研究業績：	就学前児童の発達心理学	編著
	就学前児童の心理健康	編著
	自閉症児の社会認知	学術著作
	特殊児童の統合保育における比較と研究	学術著作
	スマートなベビーを育てる	著

親の期待と 1-6 歳児の発達について
——中国 11 都市の調査結果

研究の目的

これまで、わが国では、1-6 歳の乳幼児に対する保護者の子育てにおける期待と関心について全国規模で調査したことはなかったと思われる。そこで、就学前の子どもの教育をよりの確に進められるようにするためにも、この広大な地域各地で保護者の子育て観や意識および関心に関連するデータを得て、保護者との対話において根拠として活用できるようにする必要がある。

研究の方法

地理と経済状況の代表性に注目してサンプリング調査を行った。

地理的な面では、華東地区では上海・南京・杭州、華南地区では貴陽と福州、華中地区では武漢、華北地区では天津、東北地区では根河・長春・哈爾濱、西北地区では西安をそれぞれ選択した。経済状況の面では、華東地区の上海・南京・杭州の三都市は発展地区に属し、貴陽と根河は全国的に見て経済の発展が不足している地区、他の 6 都市は中間の発展水準に属する。1-6 歳の乳幼児の保護者を 2895 名選出し、調査に参加してもらった。

アンケートとインタビューで調査を行った。調査内容は、2 つの部分からなっている。一つは、子どもの能力に対する期待の照合 (check list) である。10 名の 1-6 歳児の保護者にインタビューし、子どもの能力に対する期待のチェックリストを作成した。「気にしない」から「十分期待する」まで 5 段階評価 (five points) を用いた。因子分析 (factor analysis) を通して、5 つの要素にまとめた。二つめは、自由記述 (open-end test) により、我が子のどういう面の発達に最も関心を持っているかを保護者に質問した。

研究の結果

平均値に基づき、子どもの能力に対する期待を高、中、低に分類し、「自律能力」・「社会的能力」・「指導能力」・「生活能力」に分けた。この調査の結果は、中国の若い保護者がすでに就学前の子どもに自己コントロール、社会性とリーダーシップの重要性を意識し始め、これまでの「知力の発達が全て」という意識に変化が起きていることを明らかにした。しかし、11都市の1-6歳児の親による自由記述式質問の回答をまとめた結果、子どもの年齢が高くなるにつれて、親の関心は健康から心理的発達に移っていくこと、また、どの年齢層の親であっても、1-6歳児の認知発達に対する関心度は、感情面や社会性の発達よりも高いことを示した。

この研究の結果は、改革開放に伴い、中国の1-6歳児の父母たちが、子育てにおける期待と子育て観において、まさに葛藤を繰り返している姿を浮き彫りにしている。